

介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)の全体像

平成29年度 総合事業の全体像

■背景

- ・高齢者人口の増大 → 平成37年:団塊の世代が後期高齢者
- ・単身高齢者世帯、高齢者夫婦のみ世帯の増大
- ・認知症高齢者の増大

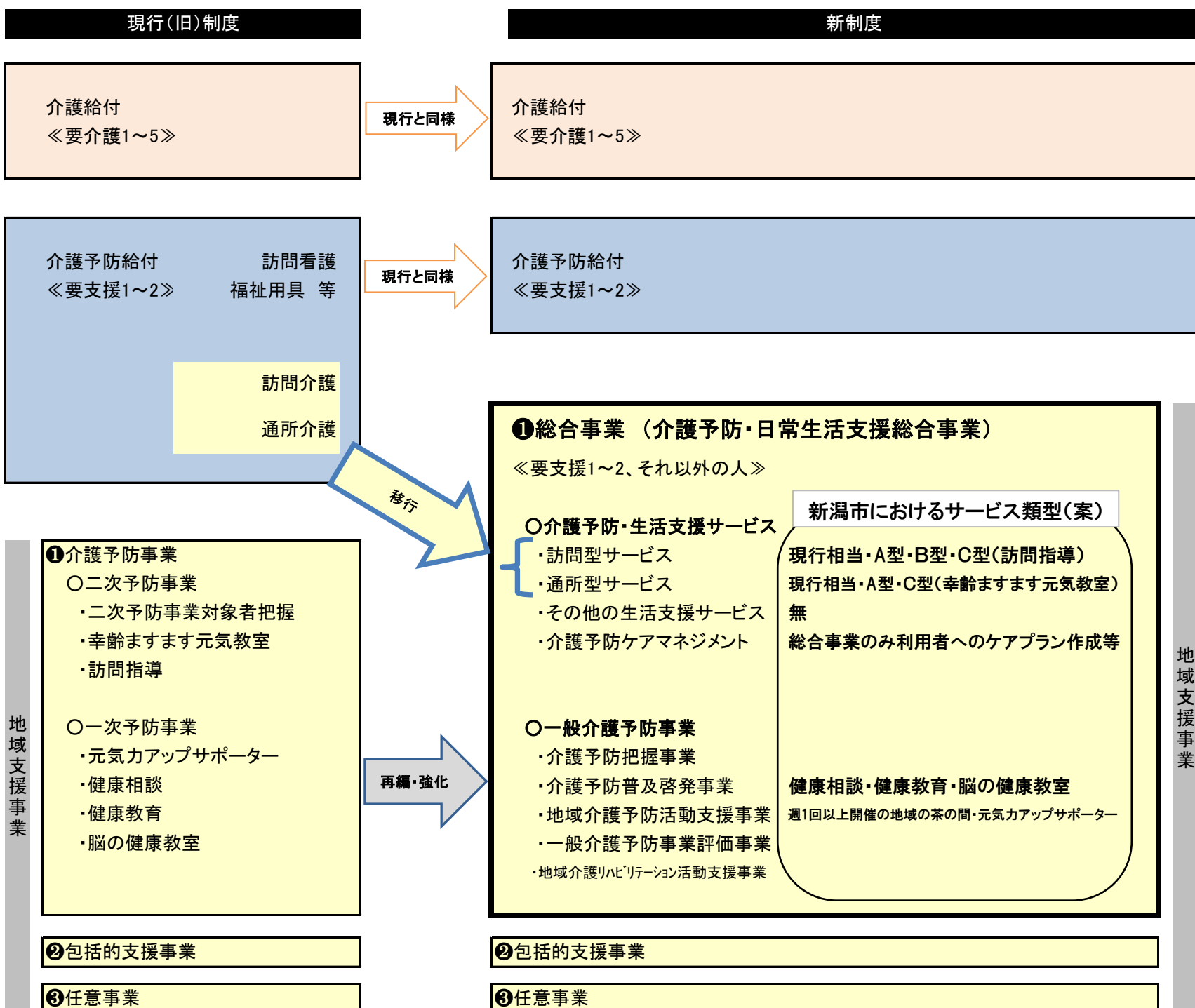
医療・介護ニーズ増大
ちょっとした支援が必要な方の増大
人口減社会において、これまでと同様の担い手では不足

■総合事業実施の目的

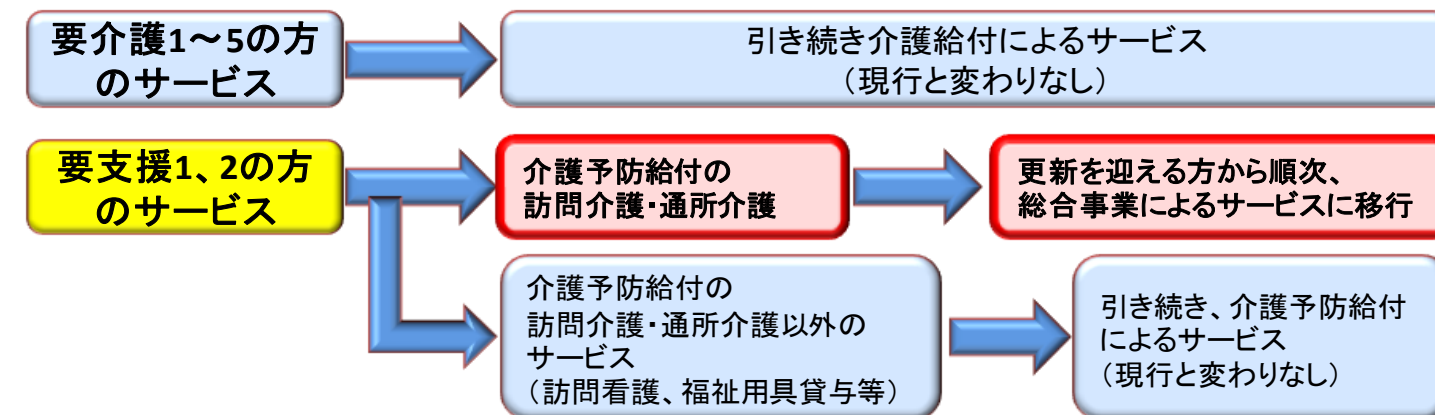
- 介護の担い手不足
- ・専門職はより中重度の方のケアへ
- ・比較的軽度の方への支援は、新たな人材のすそ野を広げていくことで対応
- ・ちょっとした支援が必要な方は住民同士の助け合い・支え合い活動が重要

総合事業の実施により
多様な主体による多様なサービス提供を可能とする

■介護保険制度の新旧対照・総合事業の実施内容



給付、地域支援事業は介護保険制度の枠内で実施されるものです。



相談からサービス利用までの流れ

